

大分県PTA



発行所 大分市大字下郡496の38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 電話(097)556-9055 http://www.oita-pta.com/ 責任者 富永大輔 印刷所 大分市六坊北町4485番地の1 映大分出版印刷



高P連・県P連 会長対談

— 小・中・高の組織的連携強化をめざして —

高P連と県P連は、昨年12月、公立中・高校の入試救済の要望書提出を、初めて連携して行った。子どもをまん中においたPTA活動を、という思いのもと連携の第一歩をふみだした高P連と県P連。両会長による初の対談も実現。今後の連携強化が期待される対談となった。

組織的な情報連携を

富永 PTA活動を通して見えてきた課題はありますか。

三浦 小・中・高とPTA活動を続けてきて、小・中学校の時に比べて早く高校の情報が必要だと思いがちです。小・中学校と高校が連携しての相互理解は必要だと思えますね。

富永 義務制の小・中学校間でもPTAの連携というのには必要です。保護者同士の個々の情報交換はある程度できていくと思うので、小・中の学校同士でも組織的連携を進めることができると思います。

三浦 高校でもやっている情報を小・中学校の人たちに渡せば、今、高校はこうなのかと。逆に小・中学校の情報を高校に渡せば、今の小・中学校の保護者の考えなどがわかってくる。そういう情報交換は必要だと思えますよ。

富永 小・中・高と学年が進んでいくことをふまえた情報交換が大切ですね。

三浦 後期の高校改革もあるし、小・中に情報を早く入れるためにも連携は必要だと思えます。

富永 ところで、お子さんとの関わり方はどうされていますか。

三浦 コミュニケーションは取ってきたつもりですが、

高P・県P初の連携



要望書を読み上げる富永会長

三浦 啓亨 高P連会長と富永大輔 県P連会長は、昨年12月14日、小矢文則県教育長に対し、新型インフルエンザに感染した受験生の入試救済（追試など）を連名で提出した。県内各地域の会員の方から、新型インフルエンザに感染した受験生の入試救済（追試など）を受けて、常任理事会で協議するとともに高P連とも協議し、要望として提出した。高P連と県P連は年2回、意見交換会を行っている。連携して行動したのは初めて。これを機に、さまざまな活動に高P連と県P連は連携し対応していく。

新型インフルエンザでの入試救済の要望書を提出

三浦 啓亨 高P連会長と富永大輔 県P連会長は、昨年12月14日、小矢文則県教育長に対し、新型インフルエンザに感染した受験生の入試救済（追試など）を連名で提出した。県内各地域の会員の方から、新型インフルエンザに感染した受験生の入試救済（追試など）を受けて、常任理事会で協議するとともに高P連とも協議し、要望として提出した。高P連と県P連は年2回、意見交換会を行っている。連携して行動したのは初めて。これを機に、さまざまな活動に高P連と県P連は連携し対応していく。



大分県高等学校PTA連合会 三浦 啓亨 会長 大分県PTA連合会 富永 大輔 会長

合唱とスポーツ << 趣味 >> トリニータ応援とゴルフ
健康第一 << 子育てのモットー >> スキンシップ
3人(26~22歳) << お子様は? >> 5人(高3~小1)

実は一番下の子が小学生の時4年間不登校だったんです。本当に目の前真暗...という

性格も違うしそれぞれおもしろい所があつて、その部分で子育てを十分楽しんでますね。でも実は子どもから育てられてると思っています。

富永 子どもが幼稚園くらいまでは一生懸命子育てする意識がありますよね。でも、小学校に入ったら子育てが終わったような気持ちになるのではありませんか。忙しくて子どもと関わる時間がないという話を聞くことがあります。私自身、子どもは親が何をしているのかよく見ているな、と感じることが多くありますね。

三浦 そうですね。PTA活動などをすると親の姿というものは必ず子どもは見えますよね。地域で活動する親の背中、家の中の背中。

富永 単Pの中で、よく仕事で忙しいから専門部会を夜に開きたいという話があるんです。でも子どもは見えているのだから、できるだけ子どもが学校にいる時間に会議をしてほしい、その姿を子どもに見せてあげて、と言っています。

三浦 PTA活動を通して、親も子どもと一緒に成長しながら地域の理解者になりましょう。いずれ自分に返ってくると思います。

三浦・富永 子どもはあなた

全ての教育の原点は家庭教育にあると考え、一人ひとりが保護者としての役割に気づき、模範を示してほしいとの思いから六箇条を制定。

保護者心得六箇条

- 一、あいさつの手本は、まず、大人が示そう。
- 二、一人ひとりを尊重できるように、自分の人権意識を高めよう。
- 三、権利ばかり主張せず、保護者としての義務を果たそう。
- 四、学校や先生の批判を、子どもの前ではしないようにしよう。
- 五、学校に対する相談は、まず担任の先生にしよう。
- 六、PTA活動を通して、子育てを楽しもう。

大分県PTA連合会

研心北

▼どの子にも母がある。そしてなにかの思いがある。私は消しゴムを使うたびに母を憶い出す。小2年時終戦。教科書は自分で裁断し糸で綴じた。紙には処々に前の活字が消え残っていた。だからノートの紙質は推して知るべし。書くとき破れるし消すに消せない。消しゴムは石ゴムと言われ堅かった▼できたと思つて母に見せると母が親指と人差指の間で上手に消してくれる。「も一度書いてみて」。こう書きなさいとは言われなかった。よく破れないなあ。もう一度失敗したら破れるぞーと思いつつ書き直した。60数年経つても忘れな

い▼故事に「孟母三遷」の他に「孟母断機」の教えがある。孟子が途中で学問をやめ帰ってきた時、母はそばの刀をもつて織つていた機を断ち切つて、学問の中絶の非を教えた。母の気遣いと所業に感じ入った孟子はその後、一念発起し、孔子の意をまとめた「孟子」を編み、仁義礼智の徳を説いて中国の大思想家となった▼「子どもの将来の運命は、その母の努力によって定まる」。ナポレオンの言葉である。子どもにとって母親の教育の仕方や接し方が如何に大切かを突いている。一砲兵士官から皇帝まで昇りつめ、「わが辞書に不可能という言葉はない」はあまりにも有名な▼なにも、孟子やナポレオンを育てよと言っているのではない。全員が一人のようになつては社会は成立しない。その時と場と存在感を持った人に育てたい▼文初母と取りの母は格差ありすぎて失礼だが、「あづかれる。宝にも似てあるときは。吾子ながらかひな畏れつつ抱く」美智子皇后様の御歌である。

子どもの親の姿を見ている

富永 子どもが幼稚園くらいまでは一生懸命子育てする意識がありますよね。でも、小学校に入ったら子育てが終わったような気持ちになるのではありませんか。忙しくて子どもと関わる時間がないという話を聞くことがあります。私自身、子どもは親が何をしているのかよく見ているな、と感じることが多くありますね。

三浦 それは確かに。子どもも近所の人から声を掛けられる事が多くなったと言っていました。PTAをやっていると、損得ではなく自分の人生を広げられる。たくさんの人と知り合つて勉強できて、こんな楽しいことはない、と思えますよ。

三浦 我が子のことを身を呈して守れるのは保護者しかいない。我が子のために時間を作りPTA活動にあてて下さい。子どもに目を向けて下さい。

富永 PTA活動を通して、親も子どもと一緒に成長しながら地域の理解者になりましょう。いずれ自分に返ってくると思います。

三浦・富永 子どもはあなた

平成20・21年度大分県PTA連合会

指定研究発表会

2年間にわたり、県PTA指定研究に取り組んできたPTAの特色を生かした公開発表を前号に引き続き紹介する。

津久見市立第二中学校PTA 12月5日 親も子ども「共に」成長

津久見市立第二中学校PTA(生徒数190名、会員数172名)は「思いを実行に！共に育む夢プラン」を研究主題に、終日、体育館にて公開発表が行われた。

子どもも「熱い思い」

平成19年度より「主役は子どもと先生。PTAはその主役がしやすい、指導しやすい環境づくりをするためのもの」という思いで取り組んできた。当日の公開発表はその成果が子どもたちに反映され、ありのままの子どもの成長と充実した光輝く姿を見ることができた。



劇では笑いや涙も...

と仲間ではないや」が発表された。これは3年1組での実話をもとに生徒たち自身で作成したものだ。堂々とした迫力のある演技に会場は拍手喝采となった。野球部員を演じた男子生徒は「1カ月近くかかって作ったので大変だった。自分たち1年生の合唱、弁論「私

分たちの思いがちゃんと表現でき、また見てくれる人にも伝わってよかった」と熱く語った。観客は「演じる一人ひとりがとてもいきいきしていてとても感動した」と話した。次に1年生の合唱、弁論「私



全員がひとつになったの大合唱

への情報源となっている。ひとつのテーマにそって経験や価値観を照合していくワークショップ形式。それぞれの思いについて語り合う場を提供している。

また特別活動として、ベトナム中学生訪日団を受け入れる「V2プロジェクト」は、子どもを中心に企画・運営され、交流を深めることによりその達成感や充実感を体感できた。発表後の質疑応答では、夜のPTA(ワークショップ)への参加やコミュニケーションの取り方に関心が集まった。

①環境づくり(風通しの良いPTA活動)
②夢を実行に(体感プラン計画、実行。自立心の向上)
③地域の中の第一中学校を立て、「子ども」と家庭・学校・地域との連携を取ってきた。PTA三役発信の広報紙、コミュニケーションボード設置により情報の提供を行って

子どもたちの発表につづき川野修平PTA副会長は、スライドを使い各専門部の実践活動を報告した。

現状把握から 実行へ

「こは命の星」推進事業 活動報告(3) いいのちを感じる活動を

夢づくりを「南っ子文庫」から 宇佐市立四日市南小学校PTA



読み聞かせパネルシアター

宇佐市立四日市南小学校PTA(大門伸一郎PTA会長 児童数282名)は、平成20年度より子どもたちに豊かな創造力・読解力・表現力をと考

次は、さらに読書内容を向上させる活動。図書館だけからの借り入れでは同じ本を何度も借りてしまうため、平成21年度より図書室に「南っ子文庫」を設置。「こは命の星」推進事業を活用し、いのちを考える・夢を育てる本、環境・エコを伝える本のコーナーを作った。

PTAや読み聞かせの保護者の協力で情報を集め、本の選考を行っている。広報紙には今後「南っ子文庫」からのお勧めの本」を掲載するなど、関心を高める工夫をしていく。また、朝読書の取り組みも毎日になり、1日を静かにスタートできるなど良い影響が出ている。

毎朝の読書から スタート



「エコボックス」からの運び出し作業

九重町立東飯田小学校PTA(阿部征則PTA会長 児童数131名)は、平成20年度より古紙回収エコ活動(宝つ子夢 エコアース)を続けて

【21年度の取り組み】

Table with 2 columns: 21年度決定数(郡市別) and 21年度取り組み. Rows include 中津市, 豊後高田市, 宇佐市, 別府市, 杵築市, 日出町, 大分市, 国東市, 姫島村, 玖珠郡.

主な事業内容は、食育体験学習、命を尊ぶ講演会、ふれあいの森づくり、ハートフルフラワー事業、炭釜づくり、炭俵づくり、環境整備作業などが計画されている。

エコから学ぶ環境への意識 九重町立東飯田小学校PTA

エコ活動の中心は6年生で、ポスターやピラを作成して地域に古紙回収の主旨や方法を

「エコ活動で 芽生えた心」 PTAがボランティアスタッフを募り、地域の方に声をかけ、平成21年の夏に完成。子どもたちも夢の宝箱」と名づけ看板を取りつけた。



朝8時 10分、1年生教室。今日は地域サポーターの方の読み聞かせの会。今朝の1年生はいつもよりちょっとお行儀がいい。「おはようござい

楽しみにまっています

「次は、おばちゃんのお話。今日も短いお話だよ」「わかった、詩やな」「そうそう、よく覚えていたね」「ゆっくりゆきちゃん」「ゆっくり川俊太郎」ゆっくりゆきちゃんがあんまりゆっくりしすぎて、ゆっくり帰って見たら娘が3人生まれてたというおもしろい詩。「えーっ、うそや。ありえんやろ」「みんなもゆっくりゆきちゃん読みたい？」「読む、読む」おおきな声が教室にひびきます。ゆっくりゆきちゃん/かえって見たら/むすめが3人生まれました。3学期の読み聞かせの会はあと2回。子どもたちと楽しみにまっています。 豊後大野市立緒方小学校 教諭 大林 幸代

資源を有効活用できないか」と取り組んだことを契機に始めた。これまで体育館の階段下に回収場所を設置していたが、大量の古紙が雨に濡れたりに風には飛ばされたりするなど、管理が難しくなってきた。そこで「こは命の星」推進事業に申し込み、より安心して活動できるように「エコボックス」の建設をした。

日吉郁也教頭は「エコ活動を通して子どもたちに物を大切にすることを伝えることが大切」と話した。

九州地区子どもの生活習慣づくりフォーラムより

基調講演 (講演要旨)

「脳科学からみた、早寝、早起き、朝ごはんの大切さ」

東北大学加齢医学研究所 川島 隆太 教授



文部科学省委託事業の一環

体に心に栄養を

— 伝えたい食育とは —



食生活への関心がありながらも、慌ただしい日々の中では食習慣が乱れがちになり、栄養バランスが偏ってしまっている。疎かになる「食」は、子どもたちの体だけでなく心の栄養面への影響が懸念される。改めて、食をめぐる問題点を受けて、各家庭に合った食育をみつけるために、日頃からできる取り組みについて考えてみた。

平成17年に食育基本法が施行され、食育の重要性が叫ばれるのを機に、翌年には「早寝早起き朝ごはん」国民運動がスタート。食の大切さを再認識する講演会やPTA活動が盛んになり、食育という言葉が浸透してきた。

バランスのとれた朝食を

ある小学校の栄養士は「食育に対する親の意識向上の表れからか、朝食を毎日食べている子どもの割合が小・中ともに年々増加傾向にある。一方、朝食を食べずに登校して排便習慣が不規則で便秘になっている子どももいる。成長期の子どもの偏った食事では、偏った栄養素が不足し、理想的な朝食スタイルがわかっていても「少食でパンや」

気持ちに寄り添う食卓へ

近年、子ども一人で食事をとる「孤食」が問題になっている。「洗濯や弁当作り、出勤前の準備と朝は慌ただしい」「残業や子どもの塾通いで帰宅時間がバラバラ」と親も子も忙しく、家族揃って食卓を囲む

おにぎりだけしか食べない」「魚が苦手なベークン、ウインナーや卵料理を作ると喜ぶ」と子どもの好みが行き先、食べさせることが先に立っている現状がある。そんな中、栄養バランスのとれた朝食を、毎日無理なく続けられるように「夕食時に具だくさんのみそ汁を多めに作っておく」「果物をかかさず食べる」などちょっとした工夫や努力をしている家庭もある。



彩りある食卓を囲んで

ことが難しくなっている。話を聞いてもらえず、一人で食事をしていたというある母親自身の話。「家のごはんがとておいしかった記憶がある。家族一緒に囲む食卓には、いつも温かく居心地の良い空気がある食がすすんだ。成長するにつれ生活スタイルが変わり、一人で食事をする時でも必ず誰かがそばで話を聞いて、気持ちに寄り添ってくれた。豪華な食事でもなく普通のごはんだけれど、おなかも満腹、心も満腹だった。今、自分が育てられたように子育てして、食事の中の子どもの様子を心身の健康の目安にしている」。

子ども教育のカギをもつ脳の働き

4つに分かれている大脳のうち、前頭葉の前側にある前頭前野の働きは、思考、コミュニケーション、記憶、やる気など生きる力の源泉。脳を活性化すれば、知・徳・体という教育における生きる力を大きく伸ばすことができる。

夜寝ないと学力は上がらない

睡眠不足は記憶の定着が悪く、質の悪い睡眠が続くと休日なかなかなか起きられず、かえって疲れやすくなり脳機能が低下。夜しっかり寝ないと子どものがんばりは脳に残らない。夜ふかし型社会を見直し、大人の生活サイクルに合わせず睡眠のリズムを整えよう。

朝食にバランスのよいおかずを

単純な計算問題を3分おきに解くのに、バランスよく朝食を食べた時、食

子どもと過ごす時間を

親子で調理することで親子も脳機能が向上する。子どもに声をかけながら、その度ごとに認めてほめることにより、親子のかわりが大事である。

医学博士・人間の脳を画像として計測する脳機能イメージング研究の第一人者

食への関心は心通う食体験から

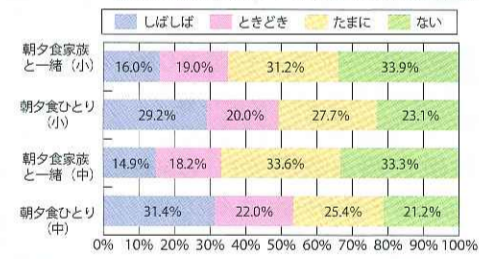
子どもが季節の味を知り、食や自然への関心をもつようになったとある母親は話す。「中3の娘は小1の頃、担任の先生の家に遊びに行き、先生手作りのつくしのつくだ煮をこっそり食べた。娘は、道端で摘んだことのあるつくしを食べることに驚いたと言った。でも、口にするとあまりのおいしさに感動したようで、家に帰ってから何度もつくしの話をしていた。もてなされてもらった喜びで、食べ慣れない物への抵抗感がなく

食育は食卓を囲むだけにとどまらない。ある父親は「仕事や学校が休みの日に、小5と中1の子を連れて、実家の米作りの手伝いに帰る。お米にしても野菜にしても、今は店に行けばすぐ手に入る。だからこそ、子どもたちに自分の口に入る物が作られているところを見せたいと思いい、手伝いをさせた。作物が成長する様子や収穫の仕方を自分の目や手で知ってほしい。実際に農作業することで、食べ物のおいしさを一層かみしめているようだ」と話してくれた。家族のコミュニケーションがとれ、農家の方への感謝の気持ちも育つ体験である。もっと身近なところで、庭先のプランターでミニトマトを育てることでも、手軽にできる食育といえるかもしれない。

食べる時は命をいただくこと

普段、店先で見かける切り身の肉や魚からは、命あるもの

子どもがイライラする頻度と食事を家族で食べる場合等の相関関係



のという感覚を持ちにくいのではないだろうか。食べる時に「ありがたうございます。命をいただきます」と挨拶するよう、子どもに言ってきたある母親の話。「命のあった物を口に入れることが食べることだと子どもに話してきた。子どもはわかっていたつもりだったのだけれど、ある日、本を読んで改めて食べるために動物が殺されることを理解し、衝撃を受けていた。かわいそうだから食べずにすむ方法はないかと尋ねてきた。私たちのために命をなくしたのだから、残さず大事にありがたう食べてあげることが礼儀だと話した。食べることは命を支えられていることだと子どもたちに語り、時に本やテレビなどで食育の感性を磨くことも大切だろう。

生きるために日々の愛情

神戸女子短期大学の平野直美准教授は「人は物を食べた

高校3年で大学受験の長男、高校1年で野球部の次男、中学1年で卓球部の長女、これが我が家の子どもたちです。みんなそれぞれ立場で頑張っているようです。長男は受験ですが、自分の時より成績は良いので勉強のことでとやかく言うのは親のエゴかなと思っていません。次男は野球ばかりで成績は全くですが、自分が学生の時も野球は上手いし、挨拶は出来るので近所の評判も良いみたい。それも親としてはとやかく言うこともな

じっと見守る

事実とその時の情動と一緒に記憶する。だから楽しく、人と一緒に食べるのが大切。あなたのために作ったものだというメッセージを込めた味が食の「安全基地」となり、深層心理に蓄積され子どもの自尊心を育てる。知識だけでなく生きることを輝かせるような食を伝えよう」と語る。時間に追われるような忙しい日々を過ごし、食べたい時に食べたい物がすぐ手に入る時代の中になると、嗜好や都合を優先した食に偏ってしまいがちになるだろう。私たちが生きていくために、食べることは欠かせない。だからこそ日々の積み重ねは、子どもの健康づくりにつながり、愛情に包まれた食が受け継がれていくだろう。毎日のことだからこそ疎かにせず、食を通して家族団らんを過ごすことが、健やかで心豊かな子どもを育てるための親の務めではないだろうか。

いかと。長女は反抗期で会話がかみ合わないけれど、反抗期にはこの家庭もあることだからこれも神経質になることはないかと。みんな家に帰れば練習や勉強で疲れ果て、好き放題で食べている。人間としての最低限のルールを守り、健康で元気に学校に行ってくれば家で少々我儘な子どもたちでもそれを受け入れてやるのが温かい家庭であり、我が子の現状を肯定し、じっと見守ってやれるようになればいいと思います。 桝築市PTA連合会 会長 諸富 正徳

第33回大分県PTA 広報紙コンクール

1年の成果を
お待ちしております

締切 平成22年3月24日(水)
審査日 平成22年4月2日(金)
表彰式 平成22年4月16日(金)

※応募対象※

県下の小・中・特別支援学校PTAで年3回
以上定期発行した広報紙(号外を除く)
(平成21年4月から平成22年3月発行分)
審査対象は小学校と中学校の2部門とする。

「第33回大分県PTA広報紙コンクール出品
品についてのお願い」は各PTA事務局を
通し単位PTAに送付しています。

平成22年度 任意保険の募集が始まります。

《申込期間》
4/1加入:3月1日~3月31日
中途加入:4月1日~4月23日
《補償期間》
4/1加入:4月1日~23年4月1日
中途加入:4月30日~23年4月1日

《保険の種類と保険料》
育英補償(子ども総合保険)
Aコース:4,800円(一人目)
Bコース:3,510円(二人目から)
自転車補償(自転車総合保険)
Cコース:930円(一人目)
Dコース:620円(二人目から)

同一世帯で複数のお子様加入する場合や両方の保険に
加入する場合など、保険料が変わります。保存版パンフレ
ットでコースをご確認の上、この機会にぜひご加入ください。

保険請求先
トータルアシスト(代理店) 0120-112-357
制度問合せ
大分県PTA連合会事務局 097-556-9055
(平成19年度まで募集の大分県PTA補償共済制度は
4月1日以降、廃止となります)

平成21年度 教育問題懇談会

県P連では、毎年各郡市P連より出された教育行政への要望事項を県P教育研修部会で
検討して県教委に示し、教育問題の解消に努めている。
今年度は平成21年11月20日、大分県教育会館において開催された。県教委からは山田修
治教育次長をはじめ関係各課より12名、県P連からは富永大輔県P連会長他副会長・理事
ら20名が出席。要望ごとに回答をいただいた後、回答の内容について質疑応答の時間を確
保し熱心な話し合いが行われた。要望は29項目にわたるが、紙面の都合で以下抜粋した。

● **教育予算に関わる要望事項**
指導上の困難な児童生徒を
抱えた学校の教師の加配につ
いて(「教育人事課」)
・生徒指導の困難な学校に対
しての加配ということにつ
いては、生徒指導の実情を十分
に把握した上で、学習指導上
の困難性の高い学校から国の
定数法に基づいて、優先的に
配置している。引き続き現行
制度の維持に努めたい。



あいさつする山田教育次長

● **学校事務職員センター化に
よる事務職員の配置について**
(「教育人事課」)
・平成22年度から学校事務の
センター化を実施するよう予
定している。具体的な業務内
容については市町村毎に検討
して進めている。学校事務職
員の配置は各学校一人配置か
ら、この配置をより効果的・
効率的に事務処理をするとい
うことでセンター化を行う。
・一人の事務処理の能力は限
りがあるので、センター化に
より組織の力をもって先生方
をサポートする学校をサポート
するという事で、今以上に
先生方の本来の業務ができる

● **学校教育に関わる要望事項**
大分県これからの教育の
展望について(「教育改革・企
画室」)
・昨年の不祥事を受けて、現
在、県民のみならずの信用を
回復するため、試験制度の改
革、人事の改革、組織の改革
に取り組んでいる。その過程
において、学校現場で多少の
混乱がある場合があるかもしれ
ないが、信頼を回復し教育

● **県下普通科高校の全一
区**制度導入後の利点や問題
点について(「高校教育課」)
・「県下普通科高校の全一
区」制度は高校改革推進計画
の中で出てきたことである。
生徒が住んでいる地域によっ
て高校受験の制限を生じない
ようにするとともに、生徒の
学校選択の自由を保障し、自
分にあった学校を主体的に選
ぶことができるための制度に
した。地域の生徒は地域で育

● **子ども安心・安全・健全
育成に関わる要望事項**
自転車使用の場合、児童生
徒のヘルメット着用について
(「社会教育課」)
・ヘルメット着用の件につ
いては、生活環境部の生活環境
企画課に確認したところ、昨
年の6月1日に道路交通法が
改正されて、道路交通法の第
63条の10で、保護者の努力義
務として小学生以下の子ども
が自転車に乗る場合、ヘル
メットを着用させるとする事
に法律上なっている。保護者
に努力義務があるので、改め
て命令をつくる用意はしてい
ないということである。そこ
で、保護者には是非協力して
欲しいということである。

てなければならぬと思っ
ている。しかしそのために、制
度として束縛するのは問題が
あり、生徒の高校選択の自由
は保障しなければならぬ。
高校再編計画ができたことを
踏まえて、学校を指導し、学
校の中身を変えることに取り
組んでいる。また、より一層
学校づくりに専念できるよう
に組織改革をしたところであ
る。旧通学区域から全県一
区になって、他地域から志願者
が微動している地域もある
が、自由な学校選択の結果で
あり、大きな変化はないと
思っている。

● **子どもの安心・安全・健全
育成に関わる要望事項**
自転車使用の場合、児童生
徒のヘルメット着用について
(「社会教育課」)
・ヘルメット着用の件につ
いては、生活環境部の生活環境
企画課に確認したところ、昨
年の6月1日に道路交通法が
改正されて、道路交通法の第
63条の10で、保護者の努力義
務として小学生以下の子ども
が自転車に乗る場合、ヘル
メットを着用させるとする事
に法律上なっている。保護者
に努力義務があるので、改め
て命令をつくる用意はしてい
ないということである。そこ
で、保護者には是非協力して
欲しいということである。

● **子ども安心・安全・健全
育成に関わる要望事項**
自転車使用の場合、児童生
徒のヘルメット着用について
(「社会教育課」)
・ヘルメット着用の件につ
いては、生活環境部の生活環境
企画課に確認したところ、昨
年の6月1日に道路交通法が
改正されて、道路交通法の第
63条の10で、保護者の努力義
務として小学生以下の子ども
が自転車に乗る場合、ヘル
メットを着用させるとする事
に法律上なっている。保護者
に努力義務があるので、改め
て命令をつくる用意はしてい
ないということである。そこ
で、保護者には是非協力して
欲しいということである。

さあ来い! リスク。

安心のゴールキーパーでありたい。
リスクとトータルに戦う
総合保険ブランド[GK]
|クルマの保険|すまいの保険|
|からだの保険|生命の保険|

三井住友海上グループ
MSIG
三井住友海上火災保険株式会社
〒104-8252 東京都中央区新川 2-27-2
www.ms-ins.com

大切な役割を果すために 母親部会

母親部長
橋本 晃子

大分県PTA連合会の母親
部は、各郡市PTA連合会か
ら選出された16名で組織され
ています。各郡市PTAの活動報
告や問題点、また家庭教育問
題や食育など母親として今考
えなければならぬ様々な課
題について、活発な意見交換
を行っています。

特に今年度は、食育に力を
入れ、大分県生活環境部が実
施している「おおいだ食育人
材バンク」を利用して、調理
実習や講演会を開催し、子ど
もや家族の健康を守るのには母
としての大切な役目であるこ
とを再認識しました。

子どもにとって一番大切な
事は、「自分が大切にされて
いる」という安心感だと思っ
ています。核家族が進む中、母
親の果す役割は大きく、母親
部の活動がその一助となれば
と願っております。

みんな がんがえる コーナー

反抗期 どう接したらいいの?

大人あつかい

ひろし君は、中学2年生。
一人っ子で、大事に育てら
れてきました。
父親が、仕事にかかりつき
り、休日は趣味に没頭しが
ちでした。そのため、母親の
気持ち、ひろし君へ強く向
いていきました。
しかし、この気持ちの強さ
が思わぬ状況を生み出して
きました。
それは、「ごめんね」とい
う言葉が日常的に母に向けら
れるようになったことです。
「本人の気持ちを一方的に
受けとり、感情的な言葉を浴
びせることになってしまい、
そう言わせるようになってし
まったのだと思います」
詳しく聞いてみると、「こ

編集後記

▼春、子どもとともに「はぐ
く美」から卒業。周りの人に
助けられ、学びの機会を与え
られ感謝の気持ちで一杯。
▼子どもを思う親の気持ちを
再確認。熱い思いが伝わる活
動に元気をいただきました。
▼「おしいね」家族の笑顔
に元気をもらい、明日もまた
家族のためにごはんをつくる。
▼何事も気の持ちようで前向
きにも後ろ向きにも。PTA
活動も同じですね。

県P情報

日中友好「少年少女の翼」

(社)日本PTA全国協議会
主催

・訪問先 中国：北京
・日程 平成22年3月27日
(出)31日(水) (4泊5日)
・参加者
日出町立日出中学校
宮部はなさん2年生
白杵市立西中学校
山木 敦司さん2年生

◆おこわり
「一村一報」は紙面の都合で
お休みします。

子どもをつい大人あつか
いしてしまうこともあると思
いますが、立ち止まって、本
人の考えをじっくりと聞くこ
とが、案外、忘れられがちで
す。
みんなで考えるコーナー室長
岩尾 淳一